

治山事業による軽量化筋工の実施

1 筋工

斜面に丸太等を等高線状に配置して雨水の分散を図り、地表侵食を防止し植生の早期導入のための生育環境の改善を図る。

2 軽量化筋工（試行）

急峻狭隘地という特殊性がある治山事業施工地において、労働環境改善や生産性向上を目的に省力化施工のための資材軽量化等の検討・試行を実施し、導入の適否について検証する。

(1) UAVを活用した資材運搬及び緑化の試行。

(2) 資材：軽量化筋工(破碎チップ[®] 生育基盤材配合) ϕ 10cm、アンカーピン(D10-200mm+30mm)

3 施工状況



① 軽量化筋工資材

② 資材運搬の梱包(10kg/袋)



③ ドローン運搬状況

④ 筋工設置から1年経過



⑤ 航空実播施工前 (R4. 6. 14)

⑥ 航空実播施工から1年経過 (R5. 8. 8)